



010号(2012年3月8日)

目次

3月 ケーガン博士が来日します!
ワークショップ・1日研修開催(米子)
九州支部主催「授業づくり研究会」
第9回日本協同教育学会全国大会
ワークショップ(BASIC)開催
5月のワークショップご案内
出版情報

3月 ケーガン博士が来日します!

「協同学習」の実践的指導者であるスポンサー・ケーガン博士が3月に来日し、講演やワークショップなどを行います。

3月24日(土)には、文部科学省の「大学教育推進プログラム採択事業」として創価大学が取り組んできた成果報告会が行われ、ケーガン博士が「学生の参加を促す授業法」のタイトルで記念講演を行います(同時通訳)。申し込みなどの詳細は下記のホームページをご参照下さい。

http://www.soka.ac.jp/newstopics/2012_0216.html

また、3月25日(日)には、「学びのちからが教育を変える-スポンサー・ケーガンの協同学習から学ぶ-」が成蹊大学(四号館ホール)にて開催され(主催:授業づくりネットワーク、成蹊大学文学部、後援:武蔵野市教育委員会)、公開インタビューおよびワークショップが行われます(定員200名、参加費・申し込みは不要)。

ワークショップ・1日研修(米子)

2月19日(日)、ワークショップ・1日研修が米子で行われました。

米子は、前日からの大雪で開催を心配しましたが、当日は小雪となり定刻までにはほぼ全員が集まり予定通り研修会を行いました。

当日の参加者は30名で、群馬、東京等の遠方から出席いただいた方もおりました。また、小学校の先生から大学の先生、さらに研究者と幅広い職域の方々に参加され、多様な意見交換・情報交流がされました。また、地元の中学校の先生方が参加者の半数近くを占め、意欲的に活動されていました。

昨年に続いて本年も参加された中学校教諭からは、「生徒の立場で講習を受ける機会はめったにないことですので、ワークショップで学んだ感覚を忘れずに、生徒の立場を考えながら協同学習を進めていきます」との感想をいただきました。(講師:有本高尉)



九州支部主催「授業づくり研究会」

九州支部では、6回目(1月21日(土))および7回目(3月3日(土))の「授業づくり研究会」を久留米大学にて開催しました。参加者は、6回目が30名、7回目が52名と大盛況でした。協同教育の大きなうねりを実感できる研究会でした。

<第6回目>

1. 福田 衣都子 先生(熊本市教育センター)が「熊本モデルの紹介と今後

の課題」との題目で、協同学習を一つの中核と位置づけている「熊本モデル」について作成のきっかけ、具体的な内容、現場への導入方法、現状、そして今後の課題などについて報告されました。

2. 秦喜美恵先生(立命館アジア太平洋大学)が「フィールド型体験学習FIRST(Freshman Intercultural Relations Study Trip)の効果」との題目で報告を行い、FIRSTで学生は何を体験してどのように変容するのか、変容しないのか。参加学生の記述、TAの記述、教員の観察を通して、FIRSTの効果を検討しました。

<第7回目>

1. 杉江修治 先生(中京大学)が「私の考える『協同学習』」とのタイトルで講演され、現場での指導経験に基づく、協同学習に関する講演をお聞きしました。近著「協同学習入門:基本の理解と51の工夫」にも言及されました。

2. 伊井正志 先生(八幡小学校)が城東小学校で見たこと、考えたことについて報告されました。伊井先生は、杉江先生が指導している犬山市立城東小学校の研究会に参加され、そこで見聞された内容と八幡小学校の現状とを関連づけながら、ご報告をいただきました。

次回は5月12日(土)を予定しています。写真は7回目の様子です。



JASCE

第9回 日本協同教育学会全国大会 (2012年9月22・23日)

第9回新潟大会準備委員

長田敬五

(日本歯科大学新潟生命歯学部)



この度の大会は、日本歯科大学新潟生命歯学部を大会会場として開催されます。日本歯科大学は2つ歯学部を有しておりますので、東京の生命歯学部とお間違えなされないようお願い致します。

新潟生命歯学部は新潟市の中心部に在りますので交通の便は良く、新潟空港からもバスやJR等乗り継いで短時間で来ることができま

す。また、JR新潟駅および古町(繁華街)周辺にはホテル等の宿泊施設も多数あります。なお、大会開催日が連休となりますので、宿泊施設はお早めの予約が無難です。会場へのアクセスについては、大会ホームページに詳しく掲載しておりますので、そちらも参照願います。

会場の周辺には徒歩5分圏内にコンビニと数軒の飲食店が在りますが、いずれも大型店ではありませんので、大会本部で手配致します昼食弁当(参加申込時に予約が必要です)をご利用いただくのが便利かと思えます。

会場内には一般研究発表および実践研究報告用にアイヴィホール(大会メイン会場)や大教室、ラウンドテーブルおよびワークショップ

用に小教室やセミナー室、記念講演用に大講堂、休憩・昼食会場としてスクエア(学生食堂)をご用意しておりますので、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<大会情報>

本年度の大会内容は、①一般研究発表、②実践研究報告、③自主企画、④プレイベント:中学校参観、⑤記念講演、⑥総会・懇親会です。WEBの他、FAX(または郵送)による申し込みができます。発表等の申し込み期限は5月10日(発表等原稿受付期限7月20日)です。また、予約参加申し込み期限は8月20日です。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

<http://wiki.jasce.jp/wiki/cgi/taikai2012>

大会ホームページは JASCE ホームページ(jasce.jp) のバナーからもアクセス可能です。

●ワークショップ(BASIC)開催

2月25日・26日、ワークショップ:Basic が創価大学で行われました。参加者は28名で、札幌から熊本まで全国から参加されました。講師を担当された太田昌宏先生は、「2日目の午後は、休憩時間に



なっても、どの受講者も席をたたく、講義内容から発展したテーマについて、熱心に話し込む様子が見られた。協同学習の理論や技法が、今まさに、教育現場で必要とされていることを実感する時間でした」と感想を述べられています。

●5月のワークショップご案内

5月19日・20日に立教大学にて、ワークショップ:Advance を開催致します。詳しくはJASCEホームページをご覧ください。

●出版情報

安永悟先生が『活動性を高める授業づくり』(医学書院、2012年

2月)を出版されました。「学生をグループに分けて話し合いをさせるだけでは協同学習は成立しない。学生が主体的に、積極的に授業に臨むようにするために仕掛けをする必要がある。(中略)膨大な知識を注ぎ込む授業のあり方に疑問を感じている教師の皆様読んでいただきたい書」とアマゾンで紹介されています。

